

社会学系コンソーシアム 第5回シンポジウム

東日本大震災とマイノリティ

—高齢者・障害者・外国人などに関して問わなければならないこと—

2013年1月27日(日) 13:30-17:00

会場: 日本学術会議講堂
(東京メトロ千代田線「乃木坂駅」5番出口徒歩1分)

報告

「震災が露わにした移住者たちの現在—「共に生きる」とは?—」
鈴木江理子(日本社会学会・国士舘大学准教授)

「災厄に向かう—本人たち・後方から—」
立岩真也(日本社会学会・立命館大学教授)

「震災と高齢者—地域包括ケアと福祉コミュニティ形成—」
和気純子(日本社会福祉学会・首都大学東京教授)

「大震災がもたらした「空白」—情報難民はなぜ生まれたか—」
遠藤薫(社会情報学会・学習院大学教授)

討論

船橋晴俊(日本学術会議社会学委員会・震災再建分科会・法政大学教授)

司会 西原和久(成城大学)・野宮大志郎(上智大学)

主催: 社会学系コンソーシアム、日本学術会議社会学委員会社会学コンソーシアム分科会
日本学術会議社会学委員会・震災再建分科会
共催: 日本学術会議社会学委員会

お問い合わせ: 社会学系コンソーシアム事務局
(連絡先 socconsortium@socconso.com)

参加費・事前申し込みは不要です